

COP28 ブルーカーボンイベント 伊藤大臣 開会ご挨拶

- 日本国環境大臣の伊藤信太郎でございます。Hon Jenny McAllister Arianna 担当大臣とともに、本日、日豪共催にて、ブルーカーボンに関する WS をここに開催できることを大変嬉しく思います。本イベントに参加いただきありがとうございます。
- ブルーカーボンに関する取組は、CO2 吸収・固定による気候変動緩和への貢献だけでなく、海洋環境や漁業資源の保全、観光、地域経済の発展など、多面的価値を有するものです。また、G7 としても掲げているネットゼロ、サーキュラーエコノミー、ネイチャーポジティブ経済の3つの統合的推進をまさに象徴するものと考えており、我が国では、関係省庁が連携し、また官民の連携も深めながら、取組を精力的に進めています。
- 本日は、この WS の開催に合わせ、我が国国内の 40 強に上る取組事例を和英で公表しました。是非、本日ここで提供する QR コードからダウンロードいただけますと幸いです。
- 国内における取組にとどまらず、我が国の取組事例なども共有しながら、国際連携を深めつつ、世界規模の取組にも貢献していきたいと考えています。そのため、本年 8 月には豪州が進めている IPBC というブルーカーボン国際パートナーシップに加入しました。
- また、さきほど、Plibersek 大臣の代理として、Hon Jenny McAllister assistant 大臣からの手紙を受け取り、日豪が連携し、アジア・オセアニア地域のブルーカーボンの取組をリードしていくことを確認いたしました。
- 本日のイベントでは、「持続可能なブルーカーボンの取組」をテーマに、我が国の先駆的な取組もご紹介しつつ、取組を進める上でのキーポイントや課題等を共有できればと思っております。皆様方の積極的なご参加を期待しております。ありがとうございました。